

第1学年 社会科（地理的分野）学習指導案

1 単元名 「世界の諸地域～オセアニア州～」 （東京書籍 P104～113）

2 単元について

- 本単元は、学習指導要領「内容」（1）の「世界の様々な地域」ウ「世界の諸地域」の（カ）オセアニアに基づいて設定されたものである。また、「世界の諸地域の学習については、州ごとに様々な面から地域的特色を大観させ、その上で主題を設けて地域的特色を理解させるようにすること」と示されている。オセアニア州の代表的な国であるオーストラリアは、牛や羊などの肉類、鉄鉱石、石炭など日本にとって重要な貿易相手国であり、オーストラリアにとっても日本は貿易相手国の上位に位置づけられている。そのオーストラリアの外交は、イギリスを中心としたヨーロッパ寄りの国際関係から、日本や中国などアジア諸国を基軸に置いた国際関係に変容している。このような結び付きの変化は、アジア諸国の経済成長やヨーロッパ諸国の経済力の相対的低下、オーストラリアの政策転換などが背景にある。このように、アジアとのつながりを強めていくオーストラリアにおいて、アジア民族を含む多文化社会の様子、日本を含むアジア諸国との関係について学習することを通して、地域的特色を考察させるのに適した単元である。
- 授業に関する事前アンケートでは、「社会の授業が好きだ」「社会の学習に意欲的に取り組んでいる」と答えた生徒は約7割であった。しかし、「自分の考えを、筋道を立ててまとめ表現することや1つの問題をさまざまな方向から考えることが苦手だ」と答えた生徒が約5割いた。県調査を基にした実態調査を行ったところ、「必要な情報を選択し関連づけて説明すること」「問われていることや条件に沿って表現すること」に課題が見られた。これらの結果より、授業においては学習内容を焦点化させて獲得した情報を整理させたり、グループでの話し合い活動を取り入れて自分の考えを伝え合うようにさせたりしてきた。今後も、資料と社会事象を関連付けて考察する場面を設けたり、根拠をもとに自分の考えを表現したりする機会を増やし、基礎的・基本的な知識・技能を習得させながら、思考・判断・表現力を育成していくことが必要であると考えられる。
- 指導に当たっては、オセアニア州の中でも特にオーストラリアを例に、学習問題「なぜオーストラリアは、ヨーロッパに代わってアジアとの結び付きが強まってきたのだろう」を設定する。まず、「つかむ」過程では、オセアニア州を大観させ、アジアとの結び付きが強まっていることを資料から読み取らせる。その上で、オーストラリアの国際関係に注目させて、単元を通した学習問題を設定する。その際、生徒の興味や関心を高めるために、電子黒板やタブレット型端末を活用する。さらに、「調べる」過程では、オセアニアの島々にも目を向けさせながら、中核となるオーストラリアの自然環境、産業、歴史的背景などの特色について、主題図や写真などのさまざまな資料を基に捉えさせ、学習問題に対する考察を促す。最後の「考え・まとめる」過程では、学習問題に対する意見をグループでまとめさせ、発表させる。グループの発表を受けて、これまでの学習を振り返らせながら自分の意見をまとめさせることで、思考の深化を促していきたい。

3 単元の目標

(1) オセアニア州における，オーストラリアとアジア諸国との結び付きについて追究する学習課題を基に，オセアニア州の地域的特色に対する関心を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとさせる。

【関心・意欲・態度】

(2) オセアニア州におけるオーストラリアとアジア諸国との結び付きについて追究する学習問題を基に，多面的・多角的に考察させ，その過程や結果を適切に表現させる。

【思考・判断・表現】

(3) オセアニア州の地域的特色に関する様々な資料を収集し，有用な情報を適切に選択させ，読み取ったり，図表にまとめさせたりする。

【資料活用の技能】

(4) オセアニア州におけるオーストラリアとアジア諸国との結び付きについて追究する学習問題を基に，地域的特色を理解し，その知識を身に付けさせる。

【知識・理解】

4 評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度【関】	社会的な 思考・判断・表現【思】	資料活用の 技能【技】	社会的事象についての 知識・理解【知】
○オセアニア州における，オーストラリアとアジア諸国との結び付きについて追究する学習問題を基に，オセアニア州の地域的特色に対する関心を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。	○オセアニア州における，オーストラリアとアジア諸国との結び付きについて追究する学習問題を基に，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。	○オセアニア州の地域的特色に関する様々な資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり，図表にまとめたりしている。	○オセアニア州におけるオーストラリアとアジア諸国との結び付きについて，追究する学習課題を基に地域的特色を理解し，その知識を身に付けている。

5 単元計画（全5時間 本時1/5）

過程	主な学習活動	教師の働き掛け(○)	主な評価(・)評価の観点【】	時配
つかむ	○オセアニア州のオーストラリアに関心をもち，貿易相手国や移民出身州の資料からその変化を読み取り，学習問題を設定する。	○面積や人口の違いに気付かせながら，オーストラリアと日本の結び付きについて考えさせる。	・オセアニア州についての学習問題を考え，学習問題について予想している。 【関】	1 (本時)
【学習問題】オーストラリアがアジアとの結び付きを強めているのはなぜだろう？				

調 べ る	<p>○オーストラリアの地形・気候の特色を雨温図から読み取る。</p> <p>○オセアニア州の先住民や文化についてその特色をまとめる。</p> <p>○オーストラリアの自然環境や日本との位置関係などから、学習問題についてまとめる。</p>	<p>○各地の雨温図と、日本の雨温図を比べさせながらオーストラリアの気候の特色に気付かせる。</p> <p>○先住民の生活などを捉えさせるために、画像や映像などを提示する。</p> <p>○オーストラリアが、アジアとの結び付きを深めていることに気付かせ、その理由について自然環境や位置関係から考察させる。</p>	<p>・雨温図や地図などから、オーストラリアの地形、気候、文化の特色について調べ、まとめている。</p> <p style="text-align: right;">【技】</p> <p>・学習問題について、自然環境や距離などから理由を考え、表現している。</p> <p style="text-align: right;">【思】</p>	1
	<p>○オーストラリアの農牧業や鉱業の特色を資料から読み取る。</p> <p>○オーストラリアの産業の特色から、学習問題についてまとめる。</p>	<p>○白地図への作業を通して鉱産資源の分布や規模の大きさに気付かせるとともに、貿易相手国の資料と関連させながら、その特色を捉えさせる。</p> <p>○農業分布の特色を、年間降水量に着目して読み取らせる。</p> <p>○オーストラリアが、アジアとの結び付きを強めていることに気付かせ、その理由について産業や貿易の特色から考察させる。</p>	<p>・白地図への作業を通して、鉱業や農業の特色と貿易との関連について、気付いたことをまとめている。</p> <p style="text-align: right;">【技】</p> <p>・学習問題について、鉱業や農業など産業の面から理由を考え、表現している。</p> <p style="text-align: right;">【思】</p>	1
	<p>○オーストラリアの国旗を見て、歴史的背景について、その特色をつかむ。</p> <p>○オーストラリアの移民数や出身地域の資料からその変化を読み取り、社会の変化についてまとめる。</p> <p>○オーストラリアの歴史的背景や社会の変化から、学習問題についてまとめる。</p>	<p>○かつてイギリスの植民地であった歴史的背景についてつかませる。</p> <p>○他文化を尊重する社会が形成されていることに注目するように伝える。</p> <p>○オーストラリアが、アジアとの結び付きを深めていることに気付かせ、その理由について歴史的背景や社会の変化から考察させる。</p>	<p>・年表や国旗などから、オーストラリアとイギリスとの歴史的なつながりやオーストラリアの社会の変化について調べ、まとめている。</p> <p style="text-align: right;">【技】</p> <p>・学習問題について、歴史的背景や社会の様子から、理由を考え表現している。</p> <p style="text-align: right;">【思】</p>	1

考え・まとめる	<p>○学習問題について、これまでの学習を基に、グループで話し合い、意見をまとめる。</p> <p>○学習問題に対する自分たちの意見をグループごとに発表する。</p> <p>○学習問題に対する最終的な自分の考えをまとめる。</p> <p>○今後のオーストラリア社会の在り方について提案をする。</p>	<p>○これまでの学習を振り返りながら、地理的条件や歴史的背景、経済的理由、政治的理由などの視点から、学習問題について根拠を基にまとめさせる。</p> <p>○発表する時は、相手に分かりやすく発表するように伝える。</p> <p>○各班の発表を通して、学習問題に対する自分の考えをまとめさせる。</p> <p>○思考を深めさせるために、何人かの生徒の意見を紹介する。</p>	<p>・学習問題について多面的・多角的に考察し、根拠を基に理由をつけて自分の考えをまとめている。</p> <p style="text-align: right;">【思】</p>	1
---------	--	---	--	---

6 本時の目標

アジアからオーストラリアへの移民が増えている理由を予想し、学習問題を考え、意欲的に追究することができる。

【関心・意欲・態度】

7 展開(全5時間 本時1/5)

学 習 活 動	教師の働き掛け(○)と評価【】
1 今日の学習のめあてを知る。	○学習内容への関心を高めるために、オーストラリアの観光地や珍しい動物などを紹介する。
めあて これから学習するオセアニア州の学習問題を立てよう。	
2 オセアニアの意味やオーストラリアの面積、人口、首都などを確認する。	○オーストラリアの形や面積、人口、首都などを捉えさせるために、電子黒板で地図や画像を提示する。
3 電子黒板で、オーストラリアクイズをし、オーストラリアのチャイナタウンの様子をとらえる。	○オーストラリアのチャイナタウンの様子を捉えさせるために、オーストラリアとアジアの国との結び付きを示す資料を提示してクイズを行う。
4 「オーストラリアの移民の出身州」の資料から、その変化の理由をグループで予想する。	○タブレットで班の意見を書かせ、電子黒板に提示する。 ○グループの話し合いが活性化するようにヒントを提示する。
<p>※ヒント</p> <p>真夏のサンタクロース・日本語を学ぶ生徒・スキューバダイビングを楽しむ観光客・イギリスとオーストラリアの国旗・オーストラリアの貿易相手国の変化・オーストラリアの貿易品の変化</p>	

<p>5 グループで予想したことを発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>予想される生徒の発表</p> <p>○距離が近いから、季節が逆だから、珍しい動物がいるから、海がきれいだから……自然・気候</p> <p>○貿易での結びつきがあるのでは、産業が関係しているのかも……産業・貿易</p> <p>○イギリスとの関係が変わったのかも……歴史</p> <p>○アジアの文化が広がってきた、留学や観光で行くようになったから……文化</p> </div>	<p>○グループから出た意見を分類したり、キーワードを示したりしながら学習問題につなげる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>視点：自然・気候，産業・貿易，歴史・文化</p> </div>
<p>6 グループから出た予想を生かして、学習問題を設定する。</p>	<p>○グループの予想を生かして学習問題を設定し、学習計画を基に学習の見通しをもたせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【学習問題】 オーストラリアがアジアとの結びつきを強めているのはなぜだろう？</p> </div>
<p>7 学習問題を解決するために、確かめたいことやもっと知りたいことをまとめる。</p>	<p>○学習問題解決の見通しをもたせるために、確かめたいことやもっと知りたいことをワークシートに記述させる。【評価】</p>
<p>8 次の学習について確認をする。</p>	

8 本時の評価

<p>評価規準</p>	<p>オーストラリアへのアジアからの移民が増えている理由を予想し、学習問題を考え、意欲的に追究しようとしている。</p> <p style="text-align: right;">【関心・意欲・態度】</p>		
<p>判断するめやす (判定基準)</p>	<p>十分満足できる状況(A) 学習問題について考え、確かめたいことを複数記述している。</p>	<p>おおむね満足できる状況(B) 学習問題について考え、確かめたいことを1つ記述している。</p>	<p>努力を要する状況(C) (B)に達していない記述</p>
<p>→(B), (C)と判断した生徒への支援</p>		<p>→他の視点からも考えるように声掛けをする。</p>	<p>→板書を基に、気付きや疑問につなげて記入するよう促す。</p>
<p>評価方法</p>	<p>ワークシートの記述</p>		